

# 株式会社カンセキ 第38期第2四半期決算説明資料

---

(2011年3月1日～2011年8月31日)



2011年10月  
株式会社カンセキ

## 経営方針

当社は、「住まいと暮らしを豊かに快適にするための商品とサービスを提供し、地域の皆様の生活文化の向上に役立つ」を経営理念として、1975年の創業より主力であるホームセンター事業を核に、アウトドア専門店など複数の事業を展開してまいりました。

私どもが目指しますのは、当社独自の「ネットワーク型業態融合」であり、複数の業態を組み合わせることによって、日常における「快適な暮らしの創造」から、「人生を豊かにするライフスタイルの提案」に至るまで、様々な顧客ニーズに対応することが可能になります。

その実現に向け中核を担うホームセンター事業では、栃木県を中心とする自社商勢圏において、地域特性を捉えた新しい出店政策による業容の拡大を進めてまいります。また、30余年の間、地元密着の経営で培ってきた当社独自のノウハウに更なる磨きをかけるとともに、スローガンとして掲げる「お客様にとって、安心・親切・便利な店」の徹底に努め、地域の皆様に愛される「地域一番店」であり続けるために、たゆまぬ努力を重ねてまいります。

代表取締役 長谷川 静夫

## 主な事業内容

当社グループにおける事業のセグメントとしては、主管事業として「ホームセンター」「WILD-1」ならびに補完事業として「食品販売」「リユース」「不動産賃貸」「飲食」の各事業があります。



DIY用品、家庭用品、カー・レジャー用品、文具、食品等の販売を行っておりますが、特にペット、自転車、住まいのお手伝いについて専門分野として注力しております。



アウトドアライフ関連用品の販売とともに、アウトドア・イベントの実施や、全国のアウトドア・フィールドとの提携により、アウトドアライフを推奨しております。



業務用食材における「食の製販一体」の強みを発揮し、「エブリディ・ロープライス」「食の安心・安全」に取組み、「食卓応援&爆弾価格」などのキャンペーンの実施により、業務需要以外に一般のお客様からも支持を得ております。



環境問題への関心が高まる中、地域のお客様へ「リユース・リサイクル」を基本とした循環型の消費を提案しております。

## 2012年2月期 第2四半期の総括

当第2四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年8月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災より5ヶ月が経過し、被災企業の復旧が進むと共に商品の供給および物流網が回復に向かう中、今夏の電力供給不足による節電の影響や福島原発事故による放射線被害に加え、新たな欧米の財政不安などにより、いまだ先行きの不透明感は払拭されず、雇用情勢ならびに所得環境は依然として厳しい状況であります。

このような状況の中、ホームセンター事業につきましては、復旧・復興に関わる住関連商品や夏の節電対策・暑さ軽減対策商品が売上を伸ばしました。

WILD-1事業につきましては、震災後、被災地を中心に、防災用品やキャンプ用品の需要が高まり、新規のお客様の来店に繋がったことで売上も順調に推移いたしました。

専門店事業につきましては、業務スーパー店舗において、震災時に備蓄用食料、飲料水などの需要が急増いたしました。円高や原発事故の影響により、消費者の安くて安心な食材思考に業務スーパーの販売コンセプトが合致し、客数、売上が好調に伸びております。また、オフハウス店舗は、欧米の財政不安による貴金属の高騰により貴金属類の買取り並びに販売が増加しております。

以上の結果、当社グループにおける第2四半期連結累計期間は、売上高160億62百万円(前年同四半期比7.6%増)、粗利益率の向上並びに販売費及び一般管理費の削減に努め営業利益9億19百万円(前年同四半期比61.4%増)、経常利益7億63百万円(前年同四半期比92.0%増)、特別利益に建物および賃借権の譲渡に伴う固定資産売却益1億11百万円、特別損失に資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額37百万円、確定拠出年金移行に伴う損失50百万円、東日本大震災に伴う災害損失1億25百万円、固定資産除売却損1億18百万円を計上いたしました。その結果、四半期純利益3億28百万円(前年同四半期比93.6%増)となり前年同四半期連結累計期間と比較して増収、増益となりました。

## 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

資産の部				負債・純資産の部			
区分	当第2四半期 連結会計期間末 (2011年8月31日)	前第2四半期 連結会計期間末 (2010年8月31日)	前年同四半期比	区分	当第2四半期 連結会計期間末 (2011年8月31日)	前第2四半期 連結会計期間末 (2010年8月31日)	前年同四半期比
流動資産	7,445	6,436	115.7%	流動負債	11,571	10,903	106.1%
商品	4,509	4,155	108.5%	短期借入金	6,607	6,201	106.5%
その他	2,936	2,281	128.7%	1年以内償還予定の 社債	—	78	—
固定資産	19,774	20,717	95.4%	その他	4,964	4,623	107.4%
有形固定資産	16,052	16,495	97.3%	固定負債	11,324	12,225	92.6%
無形固定資産	709	799	88.7%	社債	—	—	—
投資その他の資産	3,012	3,422	88.0%	長期借入金	9,366	9,962	94.0%
繰延資産	0	0	35.7%	その他	1,957	2,262	86.5%
				負債合計	22,896	23,129	99.0%
				株主資本	4,301	4,037	106.5%
				評価・換算差額等	22	△ 12	—
				純資産合計	4,323	4,025	107.4%
資産合計	27,219	27,154	100.2%	負債及び純資産合計	27,219	27,154	100.2%

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

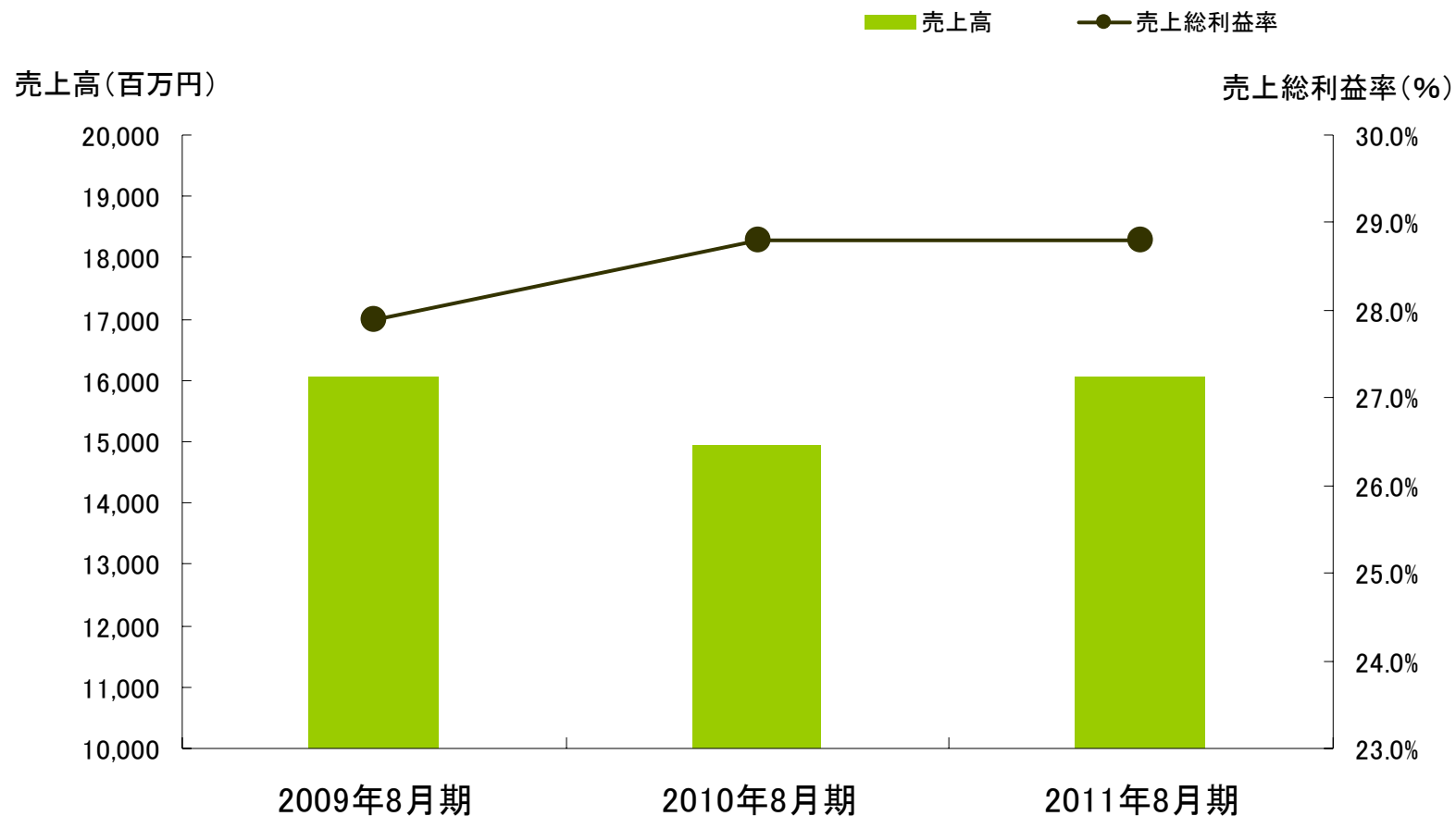
	当第2四半期連結累計期間 (自 2011年3月 1日 至 2011年8月31日)		前第2四半期連結累計期間 (自 2010年3月 1日 至 2010年8月31日)		前年同四半期比
	金額	百分比	金額	百分比	
売上高	16,062	100.0%	14,933	100.0%	107.6%
売上総利益	4,620	28.8%	4,297	28.8%	107.5%
営業収入	617	3.8%	717	4.8%	86.1%
営業総利益	5,237	32.6%	5,014	33.6%	104.4%
販売費及び一般管理費	4,318	26.9%	4,445	29.8%	97.1%
営業利益	919	5.7%	569	3.8%	161.4%
経常利益	763	4.8%	397	2.7%	192.0%
四半期純利益	328	2.0%	169	1.1%	193.6%

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(百万円)

	2009年8月期	2010年8月期	2011年8月期
売上高	16,057	14,933	16,062
売上総利益	4,472	4,297	4,620
売上総利益率	27.9%	28.8%	28.8%

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2011年3月1日 至 2011年8月31日)	前第2四半期連結累計期間 (自 2010年3月1日 至 2010年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,109	921
税金等調整前四半期純利益	536	372
減価償却費	211	233
支払利息	176	183
固定資産売却損益(△は益)	△ 105	-
固定資産除却損	111	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	-
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 245	△ 13
売上債権の増減額(△は増加)	△ 42	△ 65
仕入債務の増減額(△は減少)	692	394
その他	93	48
小計	1,466	1,153
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△ 176	△ 186
法人税等の支払額	△ 183	△ 49
投資活動によるキャッシュ・フロー	17	44
定期預金の預入による支出	△ 90	-
有形固定資産の取得による支出	△ 106	△ 48
有形固定資産の売却による収入	357	-
無形固定資産の取得による支出	△ 2	△ 5
敷金および保証金の差入による支出	△ 32	△ 36
敷金および保証金の回収による収入	199	157
預り保証金の返還による支出	△ 296	△ 19
預り保証金の受入による収入	1	3
その他	△ 12	△ 6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 229	△ 612
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 794	△ 1,100
長期借入による収入	1,650	1,370
長期借入金の返済による支出	△ 1,035	△ 807
社債の償還による支出	△ 25	△ 53
その他	△ 24	△ 20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	898	353
現金及び現金同等物の期首残高	984	1,062
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,883	1,415

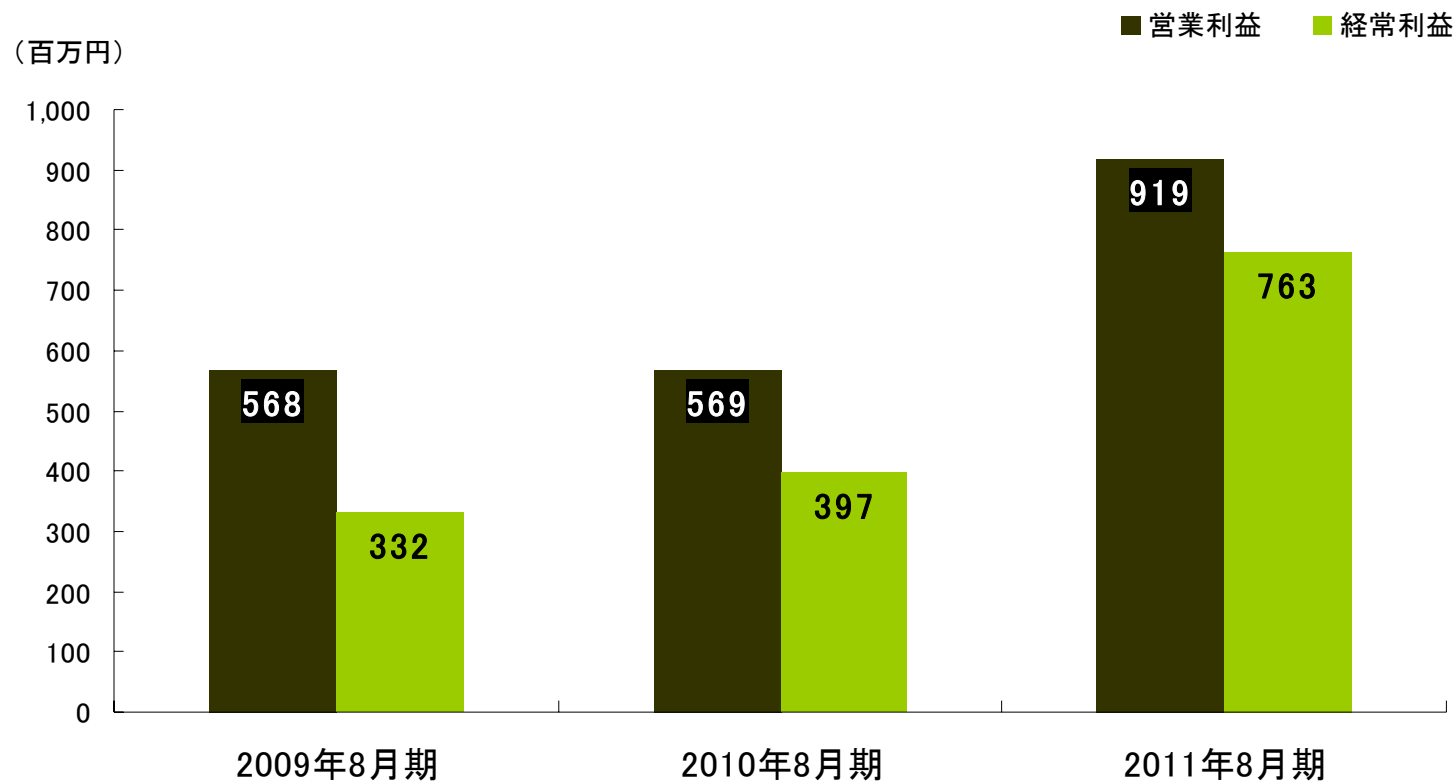
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



(百万円)

	2009年8月期	2010年8月期	2011年8月期
営業利益	568	569	919
経常利益	332	397	763

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 2012年2月期の業績予想(連結)

	2011年2月期(実績)	2012年2月期(予想)	前期比
売上高(百万円)	28,796	30,100	104.5%
営業利益(百万円)	728	1,120	153.7%
経常利益(百万円)	391	810	206.8%
当期純利益(百万円)	104	350	334.5%

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

## 事業の種類別セグメント営業収益及び利益(連結)

当第2四半期連結累計期間 (自 2011年3月1日 至 2011年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	ホームセンター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	10,379	3,341	2,506	437	16,665	13	16,679	-	16,679
セグメント間の内部営業収益又は振替高	-	-	-	6	6	36	43	△ 43	-
計	10,379	3,341	2,506	443	16,672	50	16,723	△ 43	16,679
セグメント利益	555	379	155	80	1,171	13	1,185	△ 265	919

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

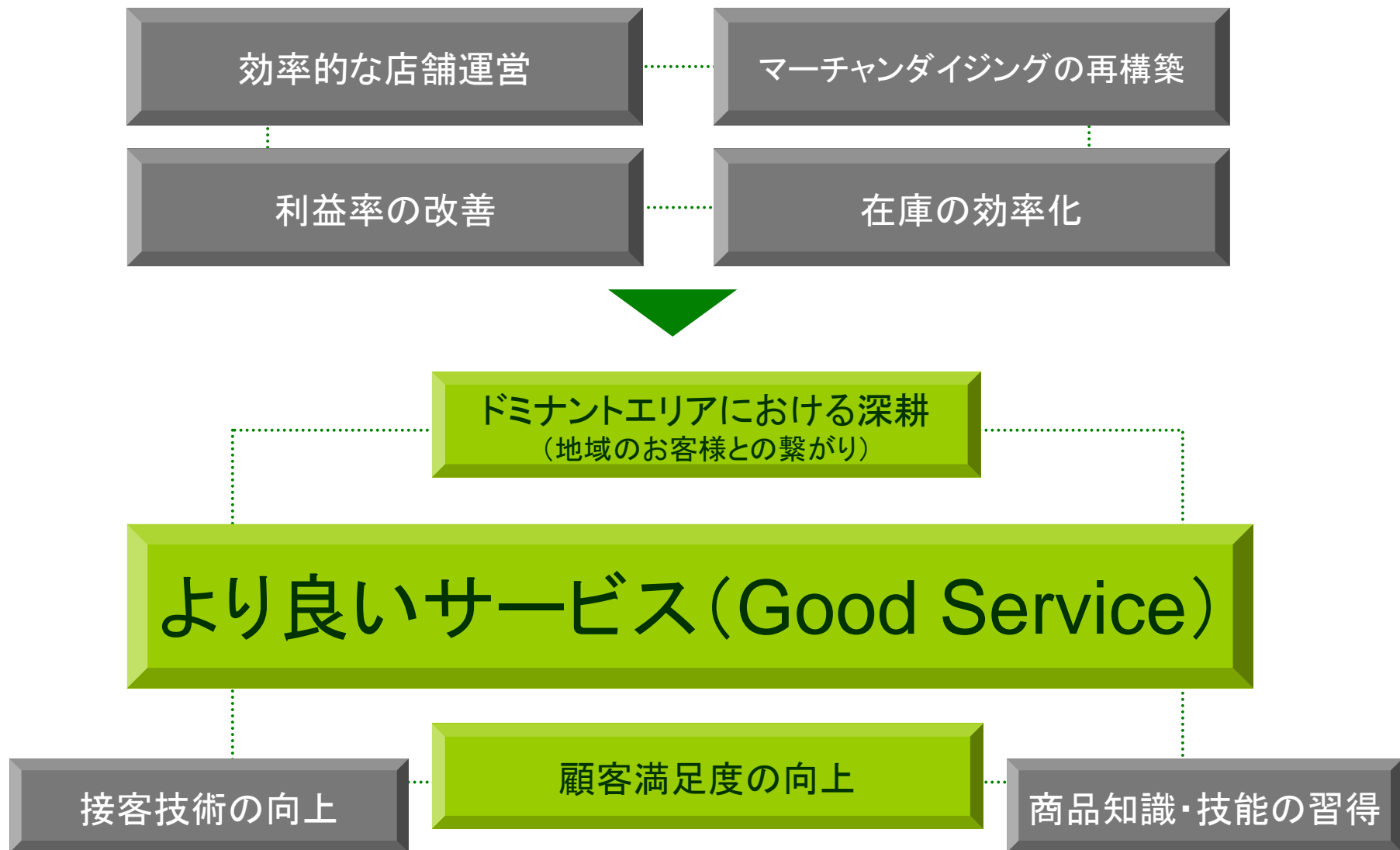
2 セグメント利益の調整額△265百万円には、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しているため、前年同四半期との比較はしておりません。

## 2012年2月期の取組みについて(対処すべき課題)



## ご注意

- 本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ



株式会社カンセキ 総務部

TEL 028-658-8123

FAX 028-659-3621